

海軍公報

第二千七百二十三號

海軍大臣官房

大正十年十一月一日(火)

○辭令

○大正十年十一月一日

(各通)

任海軍豫備一等兵曹
任海軍豫備一等機關兵曹

北野 半助 靜
淺野 忠男
西山 若一
中村 玄遊
杉谷 新吉
林田 俊治
吉田 榮作
作道 榮作
土肥 宗右衛門
本田 重郎
石神 英行
松尾 立身
田中 順平
兒玉 靜雄

海軍主計大尉 服部 榮
鶴見艦裝員及嚴艦裝員ニ要スル經費仕拂ノ爲メ臨時
現金前渡官吏ヲ命ス(十一月)海軍省經理局委任仕拂命令
官)

○艦船所在

△印ハ「ハホ」
指定ヲ要セス

○十一月一日午前十時観

横須賀 陸奥△、榛名、生駒、朝日、富士、津輕、
橋立、武蔵、千早、口沙風、夕風、口樺、椿、桑、楨、
口追風△、疾風△、彌生△、夕風△、浦風、不知火、薄雲、
口潜九、潜八、潜一五、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、
口雄、白鷹、鴻、洲崎
横濱 泰安丸
浦賀 五十鈴、菱
吳 鞍馬、伊吹、日進△、千代田、駒橋、
周防、大和、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、口磯波、綾波、
浦波、陽炎、口潜一一、潜一〇、潜一二、口潜一三、
潜一六、潜一七、潜一九、潜二三、潜三四、潜三五、
潜三六、潜三七、口水七〇、水六七、水六八、水七一、

海軍公報 第二千七百二十三號

大正十年十一月一日

九四五

0492

能登呂、野島、膠州、劍崎	大 阪、鶴見	神 戶、葦、潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二、潜三三、大泊	佐世保、日向、敷島、常磐、長良、須磨、見島、沖島、宇治、巨橋、櫻、樺、桐、松風、白雪、野分、潜四三、潜四五、雁、蒼鷹、鶴、燕、知床、高崎	新舞鶴、口鹿島、香取、筑摩、阿蘇、勝力、霧島、木曾、大井、安藝、薩摩、磐手、肥前、新高、吾妻、對馬、春風、時雨、初春、初雪、若葉、潮、朝風、子日、海風、山風、檜、浪、濱風、時津風、天津風、磯風、太刀風、帆風、野風、潜一四、潜二一、潜一八、水七三、水七二、水七四、水七五	宮 津、山城、北上、秋風、初風、島風、灘風、澤風、沖風、嵐風、矢風、萩、藤、萬、夕立、三日月、夕暮、白露、柏、松、柳、杉、櫻、檜、桃、柳	美保關、伊勢、潜四二	小 濱、若宮	旅 順、鷺、鶴、雲雀、鶴	馬 公、長月、水無月、菊月、卯月	南洋群島、梅、桂、楓、楠、室戶	浦 鹽、石見、三笠
---------------------	---------------	-------------------------------------	---	---	---	-------------------	---------------	---------------------	-------------------------	------------------------	------------------

上海、明石	漢 口、嵯峨	長 沙、隅田	宜 昌、鳥羽、伏見	アバダン、佐多	紐 育、由雲、八雲
--------------	---------------	---------------	------------------	----------------	------------------

航海中

筑前丸(十月十八日横須賀發南洋へ)
 松江(十月二十六日「サイパン」發横須賀へ)
 勢山(十月二十七日高雄發佐世保へ)
 機雲(十月二十七日「タカラン」發吳へ)
 野間(十月二十八日馬公發「タラカン」へ)
 口長門、口金剛(十月三十日舞鶴發函館へ)
 平戸、韓崎、淺間、千歳、谷風、江風、葵、菊、
 潜二〇(十月三十日舞鶴發吳へ)
 春日(十月三十日舞鶴發浦鹽へ)
 天龍(十月三十日舞鶴發神津へ)
 神風、櫻、如月、吹雪、初霜、有明(十月三十日舞鶴發
 徳山へ)
 潜二六、潜二五、潜二七(十月三十日舞鶴發横須賀へ)
 潜二八(十月三十日舞鶴發神津へ)
 關東(十月三十日横須賀發「ベ」港へ)
 比叻、攝津、球磨、多摩、潜二六、潜二四(十月三十一

0493

日宮津發柁銘(一) 龍田利根、口栗、柿、梅、楡、口榧、梨、竹、縱(十月三十 一日宮津發佐世保へ) 扶桑(十月三十一日宮津發境へ) 矢矧(十月三十一日宮津發吳へ) 滿州(十月三十一日宮津發橫須賀へ) 青島(十月三十一日舞鶴發佐世保へ)		○雜款		○軍艦進水 浦賀船渠株式會社ニ於テ建造ノ軍艦五十鈴十月二十九 日午後二時二十分進水セリ		○事務所撤去 神戸市東川崎町川崎造船所内ニ設置中ノ驅逐艦葦葉裝 具事務所ハ十月二十八日限り撤去セリ(葦葉裝具員長)		○南洋交通船泰安丸第四回輸送日割中左記ノ通決定ス (十月二十二日本欄參照) 入港日時 十一月四日午前十時 出港日時 十一月八日午後四時 (横須賀海軍港務部)		○郵便物發送先	
軍艦天龍宛 本日以後		吳		軍艦矢矧宛 本日以後		吳		軍艦多摩宛 本日以後		吳	
軍艦球磨宛 自今		吳郵便局氣付		第三水雷戰隊司令部、平戸宛 本日以後		吳		第六驅逐隊(夕立、三日月、夕暮、白露)宛 本日以後		横須賀	
驅逐艦葦葉宛 十一月四日迄到著見込ノモノハ 其ノ後ハ		吳		佐世保		特務艦青島宛 十一月五日迄到著見込ノモノハ 同 九日迄 同 同 十三日迄 同 其ノ後ハ		佐世保		吳	
德世保		新舞鶴		吳		佐世保		吳		横須賀	

海軍公報 第二千七百二十三號 大正十年十一月一日

九四七

0494

第二水雷戰隊司令部、北上、第五驅逐隊（秋風、灘風、
羽風、島風）、第二驅逐隊（澤風、沖風、峯風、矢風）宛
本日以後 横 須 賀
第十四驅逐隊（谷風、江風、葵、菊）宛
本日以後 吳

○轉居

海軍省人事局長
電話萬輪三一三〇番 海軍少將 古川 鈺三郎
荏原郡平塚村戸越九五

（部内限二頁）

0495

海軍公報

第二千七百二十四號

大正十年十一月二日(水)
海軍大臣官房

○令達

官房第三七五六號

本年十二月一日附ヲ以テ下士官兵ノ臨時任用進級ヲ行
フコトヲ得
右告達ス

大正十年十一月二日

臨時海軍大臣事務管理
内閣總理大臣 原 敬

○辭令

○大正十年十一月一日

任海軍技手	平野 九十
給五級俸	
任海軍技手	奥平 覺
給六級俸	
任海軍技手	百木 健
給月俸七拾圓	

海軍公報 第二千七百二十四號 大正十年十一月二日

九四九

佐世保海軍工廠附ヲ命ス
海軍技手 平野 九十

(各通)
海軍技手 奥平 覺

舞鶴海軍工廠勤務ヲ命ス
同 百木 健

水路部ニ於ケル海洋ニ關スル調査事務ヲ囑託ス
但報酬月額八拾五圓ヲ給シ部内限り奏任官待遇ト

吳鎮守府在籍海軍特務中尉 井口 喜之助
自今兵籍ヲ橫須賀鎮守府ニ指定ス

海軍中佐 小横 和輔

獨國駐在中加俸五千二百五十圓ヲ給ス(以上ナニハ
海軍省)

第一課勤務ヲ命ス(十月海軍省軍務局)
海軍少佐 北條 釐三郎

第一課勤務ヲ命ス(十一月海軍省人事局)
海軍少佐 濱田 吉治郎

第一部勤務ヲ命ス
海軍技師 小島 秀一

第六部勤務ヲ命ス
海軍技師 伊藤 盛男

0496

(各通)

海軍技師 敷森 敏郎
同 勝田 潔

第二部勤務ヲ命ス(以上其ハ海軍艦政本部)

○艦船所在

▲印ハ一ハホフ
指定ヲ要セス

○十一月二日午前十時観

【横須賀】 陸奥▲、榛名、生駒、朝日、富士、津輕、
橋立、武蔵、千早、口沙風、夕風、口樺、椿、桑、楓、
口追風▲、疾風▲、彌生▲、夕風▲、浦風、不知火、薄雲、
口潜九、潜八、潜一五、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、
口雄、白鷹、鴻、洲崎
【横濱】 泰安丸
【浦賀】 五十鈴、菱
【函館】 口長門、口金剛
【吳】 口韓崎、口平戸、鞍馬、伊吹、日進▲、
千代田、駒橋、周防、千歳、大和、口村雨、朝霧、
白雲、朝潮、口綾波、磯波、浦波、口谷風、江風、葵、
菊、陽炎、口潜一、潜一〇、潜一二、口潜一三、
潜一六、潜一七、口潜二〇、潜一九、潜二三、潜三四、
潜三五、潜三六、潜三七、口水七〇、水六七、水六八、
水七一、能登呂▲、野島▲、膠州▲、劍崎
【大阪】 族、鶴見
【神戸】 潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二、

潜三三、大泊
【多度津】 潜二八
【神戶】 天龍
【佐世保】 口神風、響、如月、吹雪、初霜、有明
口日向▲、敷島、常磐▲、長良、須磨、見島、
沖島、宇治、口樺▲、櫻▲、椿▲、桐▲、口松風、白雪、
野分、霞、潜四三、潜四五、口雁、蒼鷹、鶴、燕、知床▲、
勞山、高崎
【新舞鶴】 口鹿島、香取、口筑摩、口木曾、大井、
安藝、薩摩、新高、阿蘇、勝力、吾妻▲、對馬▲、
口春風、時雨、初春、初雪、口若葉、潮、朝風、子日、
口海風、山風、檜、櫻、口濱風、時津風、天津風、磯風、
太刀風▲、帆風、野風、口潜一四、口潜二一、潜一八、
口水七三、水七二、水七四、水七五
【宮津】 山城
【西郷】 口櫻、檜、桃、柳
【海軍】 口鷲、鷗、雲雀、鶴
【旅順】 口長月▲、水無月▲、菊月▲、卯月▲
【馬公】 口梅、桂、楓、室戸
【高雄】 楠
【南洋群島】 淀、松山丸
【浦賀】 口石見、三笠
【上海】 口明石
【漢口】 嵯峨
【長沙】 網田

官 昌 鳥羽、伏見
アバダン 佐多
紐 育 出雲、八雲

航海中

筑前丸(十月十八日横須賀發南洋へ)
松江(十月二十六日「サイパン」發横須賀へ)
機雲(十月二十七日「タカラ」發吳へ)
野間(十月二十八日馬公發「タラカン」へ)
渡間(十月三十日舞鶴發吳へ)
春日(十月三十日舞鶴發浦鹽へ)
潜二六、潜二五、潜二七(十月三十日舞鶴發横須賀へ)
關東(十月三十日横須賀發「ベ」港へ)
球磨、多摩(十月三十一日宮津發杵築へ)
龍田利根、口栗、柿、梅、櫛、梨、竹、樅(十月三十日宮津發佐世保へ)
矢矧(十月三十一日宮津發吳へ)
滿州(十月三十一日宮津發横須賀へ)
青島(十月三十一日舞鶴發佐世保へ)
扶桑(一日境發吳へ)
霧島(一日宮津發美保關へ)
伊勢(一日美保關發佐世保へ)
攝津(一日杵築發吳へ)
比叡(一日杵築發佐世保へ)

肥前(一日舞鶴發江尻へ)
若宮(一日小濱發横須賀へ)
磐手(一日舞鶴發佐世保へ)
北上、口秋風、羽風、島風、濰風、口澤風、沖風、巖風、
矢風(一日宮津發函館へ)
口夕立、三日月、夕暮、白露(一日宮津發横須賀へ)
口萩、藤、藤、葛(一日宮津發吳へ)
口柏、松、櫛、杉(一日宮津發隱岐へ)
葦(一日神戸發吳へ)
潜三三、潜二四(一日杵築發吳へ)
潜四二(一日美保關發)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
第十二驅逐隊司令ハ本月一日司令驅逐艦ヲ磯波ヨリ綾波ニ變更セリ
○郵便物發送先
第二十二驅逐隊(梅、桂、楓、楠)宛
十一月十五日迄到著見込ノモノハ澎湖郵便局氣付其ノ後ハ
佐世保郵便局留置
○特務艦青島行動豫定

地名 著 發

佐世保	十一月三日	十二月五日
吳山	七日	九日
德鶴	十五日	十三日
浦鶴	二十日	十七日
舞鶴	二十七日	二十四日
佐世保	十二月六日	十二月四日
鎮海	九日	八日
旅順	十四日	十一日
佐世保	二十日	十七日
吳山	二十四日	二十二日
横須賀	三十日	二十七日

○卒業式
來ル十一月十日午前十時第二十五期運用術練習生卒業式舉行(運用術練習艦富士)

○電話架設
芝 四八一六番

海軍艦政本部 増井敬次郎
第五部長

麻布區我善坊町四十四

海軍大學校選科學生海軍中尉從七位高橋憲二郎十月三十一日死去、葬儀ハ郷里岐阜縣土岐郡泉町ニ於テ施行ス

(部内限二頁)

0499

海軍公報

第二千七百二十五號

海軍大臣官房

大正十年十一月三日(木)

○辭令

○大正十年十一月二日

任海軍書記
給七級俸

宮副 熊一

佐世保海軍經理部附ヲ命ス
海軍書記 官副 熊一

依願免本官(以上計、海軍省)
海軍書記 宮尾 一夫

○艦船所在

相定ヲ要セス

○十一月二日午前十時觀

【横須賀】 陸奥△、榛名、生駒、朝日、富士、津輕、
橋立、武蔵、千早、巨沙風、夕風、巨櫛、椿、桑、根、
巨追風△、疾風△、彌生△、夕風△、不知火、薄雲、
巨潜九、潜八、潜一五、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、
巨雄、白鷹、鵬、洲崎△、松江
【横濱】 泰安丸

【浦賀】 五十鈴、菱
【清水】 浦風
【函館】 巨金剛、巨北上、巨秋風、羽風、島風、瀨風、
巨澤風、沖風、暴風、矢風
【吳】 巨韓崎、巨平戸、球磨、多摩、淺間、鞍馬、
伊吹、日進△、攝津、千代田、駒橋、周防、千歳、大和、
矢矧、巨村雨、朝霧、白雲、朝潮、巨綾波、磯波、
浦波、巨谷風、江風、葵、菊、陽炎、巨萩、薄、藤、葛、
華、巨潜一、潜一〇、潜一二、巨潜一三、潜一六、
潜一七、巨潜二〇、潜一九、潜二三、潜三四、潜三五、
潜三六、潜三七、巨潜三二、潜二四、巨水七〇、水六七、
水六八、水七一、能登呂△、野島△、膠州△、劍埼
【大阪】 阪、鶴見
【神戸】 潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二、
潜三三、大泊
【高松】 潜二八
【佐世保】 天龍
【佐世保】 伊勢、日向△、敷島、常磐△、長良、須磨、
見島、沖島、宇治、比叡、利根、巨橋△、櫻△、桐△、
巨松風、白雪、野分、霞、潜四二、潜四三、潜四五、巨雁、
蒼鷹、鶴、燕、知床△、勞山、高崎

海軍公報 第二千七百二十五號 大正十年十一月三日

九五三

0500

新舞鶴 口鹿島、香取、ノ筑摩、ノ木曾、大井、
安藝、薩摩、新高、阿蘇、勝力、吾妻、對馬、
ノ龍田、ノ栗、梯、檜、ノ樺、梨、竹、樺、ノ春風、
時雨、初春、初雪、ノ若葉、潮、朝風、子日、ノ海風、
山風、檜、榎、ノ濱風、時津風、天津風、磯風、太刀風、
帆風、野風、ノ港一四、ノ水七三、水七二、水七四、
水七五

境 霧島

鎮 海 口鯨、鵜、雲雀、鰯

旅 順 口長月、水無月、菊月、卯月

馬 公 口梅、桂、楓、室戸

高 雄 口楠

南洋群島 口淀、松山丸

浦 口石見

上 口明石

漢 口嵯峨

長 口隅田

宜 口伏見

紐 口佐多

育 口出雲、八雲

航海中

筑前丸(十月十八日横須賀發南洋へ)
標雲(十月二十七日「タカラン」發吳へ)

野間(十月二十八日馬公發「タラカン」へ)
ノ港二六、港二五、港二七(十月三十日舞鶴發横須賀へ)
關東(十月三十日横須賀發「ノ港」へ)
滿州(十月三十一日宮津發横須賀へ)
青島(十月三十一日舞鶴發佐世保へ)
扶桑(一日境發吳へ)

若宮(一日小濱發横須賀へ)

磐手(一日舞鶴發佐世保へ)

夕立、三日月、夕暮、白露(一日宮津發横須賀へ)

長門(二日函館發横須賀へ)

肥前(二日江尻發杵築へ)

口柏、松、柳、杉(二日西郷發鎮海へ)

口樺、檜、桃、柳(二日西郷發佐世保へ)

口港二一、港一八(二日舞鶴發佐世保へ)

山城(二日宮津發函館へ)

口神風、櫻、如月、吹雪、初霜、有明(二日徳山發横須賀へ)

三笠、春日(二日浦鹽發舞鶴へ)

鳥羽(二日宜昌發重慶へ)

○ 雜 款

○郵便物發送先
軍艦阿蘇宛

0501

十一月五日迄到著見込ノモノハ
其ノ後ハ
新舞鶴
横須賀

○電話架設

九段 三八七三

海軍軍令部副官

海軍少佐 水戸 春造

牛込區市ヶ谷富久町
一一三ノ七

海軍公報 第二千七百二十五號 大正十年十一月三日

(部内限二頁)

九五五

0502

海軍公報

第二千七百二十六號

海軍大臣官房

大正十年十一月四日(金)

○辭令

海軍武功調査委員ヲ命ス
海軍少佐 濱田吉治郎

(各通)

海軍兵曹長 青木泰次郎
海軍一等兵曹 脇國太郎
海軍二等兵曹 深澤友雄
海軍三等兵曹 皆藤梅男
海軍一等機關兵曹 長谷川憲
海軍一等機關兵 小林浦次郎

佛國へ出張ヲ命ス

(各通)

海軍技手 塚田金市郎
同 廣瀬藤作
依願免本官(以上十一月海軍省)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月四日午前十時觀

四横須賀 陸奥、榛名、富士、津輕、橋立、浦州、

武蔵、千早、口沙風、夕風、口樺、椿、口夕立、三日月、夕暮、白露、口追風、疾風、彌生、夕風、口潜九、潜八、潜一五、口潜二六、潜二五、潜二七、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、口雄、白鷹、鴻、洲崎、口松江

山 生駒、朝日、薄雲、不知火、根、桑

横 泰安丸

浦 五十鈴、菱

江ノ浦 浦風

吳 口韓崎、口平戸、攝津、鞍馬、伊吹、矢矧、

球磨、多摩、淺間、日進、口千代田、駒橋、周防、千歳、

大和、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、口綾波、磯波、

浦波、口谷風、江風、葵、菊、口萩、薄、藤、葛、陽炎、

草、口潜一一、潜一〇、潜一二、口潜二三、潜一六、

潜一七、口潜二〇、潜一九、潜二三、口潜二二、潜二四、

潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、口水七〇、水六七、

水六八、水七一、能登呂、野島、口膠州、口劍崎

大 阪 鹿、鶴見

神 戶 潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二、

潜三三、大泊

朝 天龍

海軍公報 第二千七百二十六號 大正十年十一月四日

九五七

0503

○郵便物發送先
軍艦宇治宛
十一月十三日迄到著見込ノモノハ 佐世保
其ノ後ハ 上 海

○特務艦劍埼行動豫定

著

發

舞鶴 德山 舞鶴 德山 舞鶴 德山

鶴山 鶴山 鶴山

十一月九日
十一月十四日
十一月二十三日
十二月十日
十二月十六日
十二月十八日

十二月六日
十二月十一日
十二月二十日
十二月二十五日
十二月二十六日
十二月二十八日

○正誤

昨三日辭令欄海軍書記官。副熊一ハ宮。副熊一ノ誤

海軍公報 第二千七百二十六號 大正十年十一月四日

(部内限二頁、同附録二頁、附表五枚)

九五九

0505

海軍公報

第二千七百二十七號

海軍大臣官房

大正十年十一月五日(土)

○令達

官房第三七九七號

大正十年官房一五四号

特設運送船多摩丸ニ設置ノ第二海軍軍用郵便所ヲ汽船
泰安丸ニ移シ大正十年十一月七日ヨリ其ノ事務ヲ開始

大正十年十一月四日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 原

敬

○通牒

軍第五二三號

大正十年十一月五日

海軍省軍務局長 堀内 三郎

各 應 長 殿

將旗掲揚範圍ニ關スル件

過般施行サレタル海軍小演習ニ際シ第一防備隊司令官
ノ將旗ヲ特務艦青島ニ掲揚シタル趣ナルモ現行規定上
特務艦ハ驅逐艦潜水艦ト同様ニ將旗ヲ掲揚スルノ限リ
ニ無之候條御承知相成度
右爲念申進ス

○艦船所在

△印△ハ△ハ△

○十一月五日午前十時製

【横須賀】 口長門、陸奥△、榛名、富士、津輕、橋立、
滿洲、武蔵、千早、口汐風、夕風、口磯、椿、楨、桑、
口夕立、三日月、夕暮、白露、口神風、響、如月、吹雪、
初霜、有明、口追風△、疾風△、彌生△、夕風△、口潜九、
潜八、潜一五、口潜二六、潜二五、潜二七、潜三八、
潜三九、潜四〇、潜四一、口雄、白鷹、鴻、洲崎△、
松江
【館山】 生駒、朝日、薄雲、不知火
【横濱】 泰安丸
【浦賀】 五十鈴、菱

海軍公報 第二千七百二十七號 大正十年十一月五日

九六一

0506

野 蒜 北ノ上、口秋風、羽風、島風、瀨風、口澤風、

國 館 山城、口春風、時雨、初春、初雪

矢矧、球磨、多摩、天龍、淺間、日進、千代田、

駒橋、周防、千歳、大和、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、

口綾波、磯波、浦波、口谷風、江風、葵、菊、口萩、薄、

萬、陽炎、葦、口潜一、潜一〇、潜一二、口潜一三、

潜一六、潜一七、口潜二〇、潜一九、潜二三、口潜二三、

潜二四、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、口水七〇、

水六七、水六八、水七一、能登呂、野島、膠州、

劍崎

大 阪 豚、鶴見

神 戸 潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二、

潜三三、大泊

佐 世 保 龍田、日向、比叡、敷島、肥前、利根、

磐手、常磐、長良、須磨、見島、沖島、宇治、口橋、

櫻、樟、桐、口榎、檜、桃、柳、口榎、梨、竹、樅、

口栗、柿、梅、楡、口松風、白雪、野分、霞、潜四二、

潜四三、潜四五、口雁、蒼鷹、鶴、燕、知床、勢山、

青島

新 舞 鶴 口鹿島、香取、口筑摩、口木曾、大井、

安藝、陸奥、三笠、春日、新高、阿蘇、勝利、吾妻、

對馬、口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、

楓、口濱風、時津風、天津風、磯風、太刀風、帆風、

野風、口潜一四、口水七三、水七二、水七四、水七五

七 類 浦 口潜二一、潜一八

馬 公 口梅、桂、楓、楠、室戸

南洋群島 淀、松山丸、筑前丸

浦 口 口石見

上 海 口明石

漢 口 口雙蛾

長 沙 口隅田

宜 昌 口伏見

アバダン 佐多

紐 育 口出雲、八雲

【航海中】

標案(十月二十七日「タカラン」發吳()

野間(十月二十八日馬公發「タラカン」()

關東(十月三十日橫須賀發「ベ」港()

若宮(一日小濱發橫須賀()

島羽(一日宜昌發重慶()

伊勢(三日佐世保發三津濱()

口金剛(三日函館發橫須賀()

潜二八(三日高松發橫須賀()

霧島(四日境發佐世保()

口長月、水船月、水船月、水船月(四日旅順發大連()

0507

浦風(四日江ノ浦發橫須賀へ)
高崎(四日佐世保發鎮海へ)

○雜款

○郵便物發送先

特務艦劍埼宛

十一月十日迄	新山鶴
同十九日迄	新山鶴
同二十四日迄	新山鶴
同二十五日迄	新山鶴
同十一日迄	新山鶴
同十七日迄	新山鶴
其ノ後ハ	吳山鶴

○特務艦勢山行動豫定中變更(十月十日本欄參照)

地名	著	發
吳	十一月十三日	十一月十二日
神戶	十一月十三日	十六日
橫須賀	十七日	

○全權一行著

加藤全權委員一行本月二日「シヨトラムホテル」著

○虎列刺發生報(十一月四日內務省衛生局)

在上海入倉防疫官電報
本月三日政廳ハ客月三十日ニ至ル一週間ニ共同租界
ニテ支那人虎列刺死者二名アリシ旨公報ス

0508

海軍公報

第二千七百二十八號

海軍大臣官房

大正十年十一月七日(月)

大出

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ製セス

○十一月七日午前十時點

四横須賀 口長門▲、口金剛、陸奥▲、榛名、富士、津輕、橋立、滿洲、武藏、千早、口澤風、沖風、暴風、矢風、口沙風、夕風、口櫻、椿、楓、桑、口秋風、藤風、羽風、島風、口夕立、白露、夕暮、三日月、口神風、響、如月、吹雪、初霜、有明、口追風▲、疾風▲、彌生▲、夕風▲、浦風、口潛九、口潛八、口潛一五、口潛二六、口潛二五、口潛二七、口潛三八、口潛三九、口潛四〇、口潛四一、口雄、白鷹、鴻、洲崎▲、松江、泰安丸

四山 生駒、朝日、薄雲、不知火

四浦 賀 五十鈴、菱

四大 湊 口春風、時雨、初春、初雪

四國 館 山城

吳 口韓崎、口平戶、扶桑、攝津、鞍馬、伊吹、矢矧、球磨、多摩、天龍、淺間、日進▲、千代田、駒橋、周防、千歲、大和、口綾波、磯波、浦波、口谷風、江風、葵、菊、口萩▲、薄▲、藤▲、萬▲、陽炎、口潛一、

潛一〇、潛一二、口潛一三、潛一六、潛一七、口潛二〇、潛一九、潛二三、口潛二四、潛二二、潛三四、潛三五、潛三六、潛三七、口水七〇、水六七、水六八、水七一、能登呂▲、野島▲、膠州▲

大 阪 口村雨、朝霧、白雲、朝潮、疾、鶴見

神 戶 口潛二九、潛三〇、潛三一、潛三二、潛三三、大泊

三 津 濱 伊勢

佐 世 保 口龍田、日向▲、霧島、比叡、敷島、肥前、利根、磐手、常磐▲、長良、見島、沖島、宇治、口橋、櫻▲、椿▲、口櫻、椿、楓、桑、口秋風、藤風、羽風、島風、口夕立、白露、夕暮、三日月、口神風、響、如月、吹雪、初霜、有明、口追風▲、疾風▲、彌生▲、夕風▲、浦風、口潛九、口潛八、口潛一五、口潛二六、口潛二五、口潛二七、口潛三八、口潛三九、口潛四〇、口潛四一、口雄、白鷹、鴻、洲崎▲、松江、泰安丸

新 舞 鶴 口鹿島、香取、口筑摩、口水會▲、大井、安藝、薩摩、三笠▲、春日、新高、勝力、吾妻▲、對馬▲、最上、口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檀、楓、口濱風、時津風、天津風、磯風、太刀風▲、帆風、野風、口潛一四、口水七三、水七二、水七四、水七五

美 保 灣 須磨

七 類 浦 口潛二一、潛一八

海 口柏、松、楠、杉、口鷲、鸕、雲雀、鰯

海軍公報 第二千七百二十八號 大正十年十一月七日

九六五

0509

大連 長月、水無月、菊月、卯月

馬公 桂、楠、室戸

南洋群島 淀、松山丸、筑前丸

浦島 石見

上海 明石

漢口 嵯峨

長沙 隅田

宜昌 伏見

紐育 出雲、八雲

航海中

襟裳(十月二十七日「タカラン」發吳へ)

野間(十月二十八日馬公發「タラカン」へ)

關東(十月三十日横須賀發「ベ」港へ)

鳥羽(一日宜昌發重慶へ)

潜二八(三日高松發横須賀へ)

阿蘇(五日舞鶴發横須賀へ)

青島(五日佐世保發吳へ)

北上海(六日野蒜發横須賀へ)

若宮(六日大阪發横須賀へ)

馬公(六日馬公發)

劍崎(六日吳發舞鶴へ)

高崎(六日鎮海發鎮南浦へ)

佐多(六日「アバダン」發古倫母へ)

○雜款

○司令潜水艦變更

第十五潜水隊司令ハ本月三日司令潜水艦ヲ第二十二潜水艦ヨリ第二十四潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

第二潜水隊宛

横須賀

本日以後

第十四潜水艦宛
十一月十二日迄到著見込ノモノハ
其ノ後ハ

新舞鶴
横須賀

○特務艦洲崎行動豫定變更(十月五日本欄參照)

地名 著

發

横須賀

十二月二日

十一月二十二日

タラカン

十四日

十二月四日

吳

二十九日

十一月十九日

タラカン

十一月十日

十一月十五日

德山

十八日

十一月十五日

横須賀

○事務所設置
軍艦加賀艦裝員事務所ヲ神戸市川崎造船所内ニ設置シ
本月五日ヨリ事務ヲ開始セリ(加賀艦裝員長)

0510

故原臨時海軍大臣事務管理ノ告別式ハ今七日午後
一時ヨリ四時迄政友會本部ニ於テ施行、遺骸ハ同
日午後十時上野發鄉里盛岡ニ送り來ル十一日同地
ニ於テ葬儀施行

海軍公報 第二千七百二十八號 大正十年十一月七日

(部内限二頁)

九六七

0511

浦上 鹽石見
長沙 隅田
宜昌 伏見
紐育 出雲、八雲

航海中

機雲(十月二十七日「タカラン」發吳へ)
野間(十月二十八日馬公發「タラカン」へ)
關東(十月三十日横須賀發「ベ」港へ)
鳥羽(一日宜昌發重慶へ)
阿蘇(五日舞鶴發横須賀へ)
若宮(六日大阪發横須賀へ)
梅、楓(六日馬公發)
劍崎(六日吳發舞鶴へ)
高崎(六日鎮海發鎮南浦へ)
佐多(六日「アバダン」發古倫母へ)
山城(七日函館發横須賀へ)
嵯峨(七日漢口發九江へ)
最上(七日舞鶴發佐世保へ)
知床(七日佐世保發「タラカン」へ)

○雜款

○郵便物發送先

軍艦警手宛

本日以後

横須賀

特務艦知床宛

本日以後

吳郵便局留置

特務艦勢山宛

十一月十二日迄到著見込ノモノハ

吳

同 十六日迄 同

神戶

同 二十二日迄 同

横須賀

同 二十七日迄 同

吳

同 十二月一日迄 同

長崎

其ノ後ハ

佐世保

○事務所撤去

佐世保海軍工廠内ニ設置中ノ第四十三潜水艦艇裝具事務所ヲ本月四日限り撤去セリ(第四十三潜水艦)

海軍公報 附録

大正十年十二月八日(火)
海軍大臣官房

○辭令 (慰勞賜金)

本欄慰勞賜金ノ項ニ「七〇」トアルハ戰役ノ勤勞ニ依
リ金七十圓ヲ賜與セラレシ者

慰勞賜金 海軍官位勳功 氏 名

大正八年二月二十三日

七〇 一等水兵勳八等 田中 政一(佐)

本欄慰勞賜金ノ項ニ「四五」トアルハ大正四年乃至九
年戰役ノ勤勞ニ依リ金四十五圓ヲ賜與セラレシ者

慰勞賜金 海軍官位勳功 氏 名

大正九年十一月一日

四五 安藤 馬吉(横)

○削除

大正十年三月二日附録慰勞賜金辭令中三九頁下段一等
水兵田中政一ヲ削除ス

大正十年八月十九日附録慰勞賜金辭令中二頁下段書記
上西玄作ヲ削除ス

大正十年十月七日附録慰勞賜金辭令中左記九名ヲ削除
ス

二二頁 上段	元雇員	本末 太郎
二四頁 下段	元雇員	勾坂 範親
二六頁 下段	雇員	井上 甚一
三〇頁 上段		廣瀬 實
五三頁 下段	勳七等	井出 鉄次
同		堀田 菊治
六七頁 上段		藤井 御國
六九頁 上段		八木橋 周慶之助
一〇九頁 上段		濱崎 留八

○正誤

大正十年六月二十日附録慰勞賜金辭令中左ノ通正誤ス

正	誤	頁	氏 名
孝 浦	考 脱	五	浦 孝一
ナシ	勳八等	一四	三 浦 大助
磨		三五	濱崎 春吉
		四七	矢嶋 勝磨

海軍公報 附録 大正十年十二月八日

0514

造	勳八等	藏	本	義	齊	同	一等機關兵曹	菅	部	鹿	吉	恩	安	崎	池
五三新井米造	五八後藤勇	六〇西嘉藏	六五赤本峯	九九鬼束奈良義	一一一齊藤保	一一三倉富藤次郎	一一四上野龜一	一一六菅原千代松	一二一阿部豐太	一二二杉浦鹿藏	一二三船木勇吉	一二五恩田止次郎	一二六塚腰安太郎	一二七熊崎恭一	一二八菊池石藏
正	吉村 勳八等	元雇員	恩	四〇	元	向	雇員	元雇員	元	元	子	元	澄	雇員	元雇員勳八等
誤	福富	脱	同	思	同	脱	向	同	同	脱	* 脱	脱	登	同	同
頁	二吉村潤一	五槍田吉藏	五松田富太郎	六恩地久夫	七吉澤仙太郎	八伊藤誠一	九松本尚秀	一二岩岡光太郎	一二山内一家	一四河地清藏	一五黒澤安吉	一五寺戸ト子	一六宮井乙治	一九長井澄	二一池田正市
氏名	吉村潤一	槍田吉藏	松田富太郎	恩地久夫	吉澤仙太郎	伊藤誠一	松本尚秀	岩岡光太郎	山内一家	河地清藏	黒澤安吉	寺戸ト子	宮井乙治	長井澄	池田正市

邊本吉池多白眞長寅勳七等柴藤策彰陣太太治松助一實

適太吾地田白眞最富同等藏壽策彰陳次次次市政市實

二七	三〇	四一	四三	四九	五〇	五〇	五三	五三	五八	五九	五九	六一	六三	六五	七一	七五	七五	八五	八六	八六	八六
渡邊彌壽計	藤本寅一	告原浦吉	池田彌四郎	本多七藏	白井常次郎	堀田眞七郎	安藤長三郎	安齋寅次郎	岡安清松	柴崎増藏	伊藤鶴吉	内海策壽	中川彰	陣田文四郎	寺迫松太郎	岡原龜太郎	横田萬治郎	一政松次	脇忠助	小林一實	

齊 瀨 助 上 同 同 同 同 勳七等 同 齊 同 同 同

齋 濱 勘 手 脫 脫 脫 脫 脫 齋 脫 脫 脫

八七	八七	九一	一〇三	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二九	二九	二二	二二
齊藤京一	瀨野田良美	田中右衛門	井上敏雄	横山菊五郎	帶津彌吉	眞鍋要藏	金田半治郎	渡邊元三郎	齊田傳吉	鈴木初五郎	釜床榮太郎	中村平八	

0516

海軍公報

第二千七百三十號

海軍大臣官房

(入出)

大正十年十一月九日(水)

○ 辭令

○大正十年十一月八日

任海軍書記

正本 繁人

給月俸六拾圓

任海軍技手

木村 順太郎

給五級俸

任海軍技手

稻木 虎之助

給八級俸

海軍書記

正本 繁人

吳海軍工廠廣支廠附ヲ命ス

(各通)

海軍技手

木村 順太郎
稻木 虎之助

吳海軍建築部勤務ヲ命ス

湯淺 龜一

海軍大學校ニ於ケル應用力學教授ヲ囑託ス

但報酬月額六拾圓ヲ贈與シ部内限リ奏任官待遇トス

海軍大學校ニ於ケル應用力學教授囑託

東京帝國大學教授 田中 不二

自今報酬ヲ贈與セス(以上計海軍省)

海軍技師

八住 倉吉

(各通)

同

石渡 松吉

第四部附ヲ命ス(計海軍艦政本部)

海軍機關特務中尉 藤川 榮次郎

檢査官附ヲ命ス(計海軍造兵廠)

○ 艦船所在

▲印(ニハカ)ノ指定ヲ要セス

○十一月九日午前十時觀

廣須賀 ▲長門 ▲金剛 ▲北上 ▲陸奥 ▲榛名

生駒 朝日 富士 津輕 若宮 橋立 滿洲 武藏 千早

秋風 沖風 霧風 矢風 夕風 夕風 夕風 夕風

秋風 霧風 羽風 島風 夕立 白露 夕暮 三日月

神風 響 如月 吹雪 初霜 有明 追風 ▲疾風 ▲

彌生 ▲夕風 ▲浦風 薄雲 不知火 ▲潛九 潛八

潛一五 ▲潛二六 潛二五 潛二七 潛二八 潛三八

海軍公報 第二千七百三十號 大正十年十一月九日

九七一

0517

賀五十鈴、夢

淡 春風、時雨、初春、初雪

吳、韓崎、平戶、扶桑、攝津、伊勢、鞍馬

伊吹、矢矧、球磨、多摩、天龍、淺間、日進、千代田、

[illegible]

江風 葵榮 陽炎 內灌 一
替一、替二、替三、替六、替一七、替二〇

灌一〇、灌一二、灌一三、灌一六、灌一七、
灌一九、灌二三、灌二四、灌三一、灌三四、
灌三五、

[illegible]

能登呂△、野島△、膠州△、青島、樂裳

坂、村雨、朝霧、白雲、朝朝、蘇、鶴見

潛二九、潛三〇、潛三一、潛三二、

潜三三、大泊

世保、龍田、日向、霧島、比叡、敷島、肥前、

利根、磐手、常磐、長良、見島、沖島、宇治、巨橋

櫻、椿、桐、区櫟、檜、桃、柳、区榧、梨、竹、樅

栗、栲、楸、榆、松風、白雪、野分、霰、葦、潛四二、

潜四三、潜四五、鸳鸯、苍鹭、鸬、燕

新舞鶴 口鹿島、香取、
ト筑摩、ト木曾、大井

安藝、薩摩、三笠△、春日、新高、勝力、吾妻△、對馬△、

若葉、潮、朝風、子日、區海風、山風、櫓、榎

濱風、時津風、天津風、磯風、太刀風、帆風、野風、

潛一四、水七三、水七一、水七四、水七五

境 最上

美保灣須磨

七類浦區潛二潛一八

海 巨柏、松、榧、杉、巨櫟、真、雲雀、

旅順區長月、水鏡

馬公 桂椿家戶

南洋群島

每瓶

上 長
少 海

長沙 宜陽

タ
ラ
カ
ン

野間

四海

關東(十月三十日横須賀發「へ」港へ)

鳥羽（一日宜昌發重慶へ）

阿蘇(五日舞鶴發橫須賀)

六日馬公發

劍嶺（六日吳發舞鶴へ）

高崎(六日鎮海發鎮南浦へ)

佐多(六日一アハタン)發古倫母へ)

山坡(七日)國館發枯須賀

嗟餓（七日漢口發九江へ）

知床(七日佐世保發「タラカン」へ)
ト出雲、八雲(八日紐育發「アゾレース」群島「ブン
タデルガダ」へ)
勞山(八日佐世保發吳へ)

○雜款

○郵便物發送先

特務艦大泊宛
十一月十一日迄到著見込ノモノハ
同 十六日迄 同 神 戶
其ノ後ハ 新 舞 鶴

○軍艦薩摩行動豫定

地名	著	發
新 舞 鶴	十一月十日	十一月九日
境	十一月十五日	十四日
新 舞 鶴		

○總代

來ル十一月一日盛岡市ニ於テ故臨時海軍大臣事務管理内閣
總理大臣原敬ノ葬儀ヲ執行ニ付同日總代トシテ参列ス
ヘキ旨左記諸官へ通達セラレタリ

勅任官總代	海軍機關中將	船 橋 善 彌
奏任官總代	海 軍 大 佐	原 敢 二 郎

○事務所撤去
神戸川崎造船所内ニ設置中ノ特務艦大泊艦裝具事務所
ハ本月七日限り撤去セリ(大泊艦裝具員長)

海軍公報 第二千七百三十號 大正十年十一月九日

(部内限一頁)

九七三

0519

海軍公報

第二千七百三十一號

海軍大臣官房

大正十年十一月十日(木)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十一月十日午前十時觀

横須賀 口長門、口金剛、口北上、陸奥、山城、

榛名、生駒、朝日、富士、津輕、若宮、橋立、湖州、武藏、

千早、口澤風、沖風、嵐風、矢風、口汐風、夕風、口櫻

椿、櫻、桑、口秋風、瀧風、羽風、島風、口夕立、白露、

夕暮、三日月、口神風、響、如月、吹雪、初霜、有明、

口追風、疾風、彌生、夕風、浦風、薄雲、不知火、

口潛九、潛八、口潛一五、口潛二六、潛二五、潛二七、

潛二八、潛三八、潛三九、潛四〇、潛四一、口雄、白鷹、

鴻、鷗、洲崎、口松江

浦賀 五十鈴、菱

大湊 口春風、時雨、初春、初雪

吳 口韓麟、口平戶、扶桑、攝津、伊勢、鞍馬、

伊吹、矢矧、球磨、多摩、天龍、淺間、日進、千代田、

駒橋、周防、千歲、大和、口綾波、磯波、浦波、口谷風、

江風、葵、菊、口秋、薄、口萬、陽炎、口潛一一、

潛一〇、潛一二、口潛一三、潛一六、潛一七、口潛二〇、

潛一九、潛二三、口潛二四、潛二二、潛三四、潛三五、

潛三六、潛三七、口水七〇、水六七、水六八、水七一、

龍登呂、野島、膠州、橫濱

大坂 廣、鶴見

神戶 潛二九、潛三〇、潛三一、潛三二、

佐世保 口龍田、日向、霧島、比叡、敷島、肥前、

利根、常磐、長良、見島、沖島、宇治、口橋、

櫻、椿、桐、口櫻、椿、桃、柳、口榎、梨、竹、樅、

口栗、柿、梅、榆、口松風、白雪、野分、霞、潛四二、

潛四三、潛四五、口雁、蒼鷹、鶴、燕

新舞鶴 口鹿島、香取、口筑摩、口木曾、大井、

安藝、三笠、春日、新高、勝力、吾妻、口對馬、

口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、榎、

口濱風、時津風、天津風、磯風、太刀風、帆風、野風、

潛一四、口水七三、水七二、水七四、水七五

美保灣 須磨、最上

七類浦 口潛二一、潛一八

鎮海 口柏、松、榎、杉、口鷲、鶯、雲雀、鶴

旅順 口長月、水無月、口菊月、卯月

馬公 桂、楠、室戶

南洋群島 淀、松山丸、筑前丸

海軍公報 第二千七百三十一號 大正十年十一月十日

九七五

0520

浦上 鹽 石見
長沙 明石
宜昌 隅田
香港 伏見
タラカン 野間

航海中

關東(十月三十日横須賀發「ベ」港へ)
鳥羽(一日宜昌發重慶へ)
阿蘇(五日舞鶴發横須賀へ)
創(六日吳發舞鶴へ)
高崎(六日鎮海發鎮南浦へ)
佐多(六日「アバダン」發古倫母へ)
嵯峨(七日漢口發九江へ)
知床(七日佐世保發「タラカン」へ)
出雲(八日紐育發「アゾレス」群島「ブン
タデルガダ」へ)
勞山(八日佐世保發吳へ)
泰安丸(八日横須賀發南洋へ)
磐手(九日佐世保發横須賀へ)
薩摩(九日舞鶴發境へ)
江村雨、柳霧、白雲、朝潮(九日大阪發四阪島へ)
青島(九日吳發德山へ)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更
第二潜水隊司令ハ本月九日司令潜水艦ヲ第十四潜水艦
ヨリ第十五潜水艦ニ變更セリ

○臨時電話開通

軍艦長門小湊岸壁繋留中左記電話開通

横須賀鎮守府交換 一三九番

○復歸

海軍軍用通信吏福川與一ハ去月二十八日遞信省ニ復歸
セリ

○正誤

大正十年十月二十九日公報附錄二頁一八ノ項「併外國
品ヲ用」ハ「外國品ヲ併用」ノ誤、且頁二〇ノ項「氣
象計測用」ハ「氣象計測用」ノ誤、一三類三ノ項「日
本特種塗料研究所、東京市京橋區北橫町六」トアルハ
「日本特種塗料研究所、東京府荏原郡品川町南品川宿
ノ誤

(部内限二頁)

0521

海軍公報

第二千七百三十二號

海軍大臣官房

大正十年十一月十一日(金)

○辭令

海軍軍醫少佐 伏島 忠雄
獨國駐在中加俸五千圓ヲ給ス
海軍技手 經國 哲也
依願免本官(以上計二月海軍省)

○艦船所在

▲印(ハルノ)
指定ヲ要セス

○十一月十一日午前十時觀

横須賀 ▲長門 ▲金剛 ▲北上 ▲陸奥 ▲山城、
榛名、富士、津輕、阿蘇、若宮、橋立、滿洲、武藏、
巨澤風、沖風 ▲、嶺風、矢風、巨沙風、夕風、巨櫻、
椿、楨、桑、巨秋風、瀨風、羽風、島風、巨夕立、白鷺、
夕暮、三日月、巨神風、響、如月、吹雪、初霜、有明、
巨追風 ▲、疾風 ▲、彌生 ▲、夕風 ▲、浦風、巨潜八、
巨潜一五、巨潜二六、潜二五、潜二七、潜二八、潜三八、
潜三九、潜四〇、潜四一、巨雄、白鷹、鴻、鵬、洲崎 ▲、
松江

海軍公報 第二千七百三十二號

大正十年十一月十二日

九七七

館 ▲山 千早
浦 ▲賀 五十鈴、菱
大 ▲湊 ▲春風、時雨、初春、初雪
吳 ▲、巨韓崎、巨平戸、扶桑、攝津、伊勢、鞍馬、
伊吹、矢矧、球磨、多摩、天龍、淺間、日進、千代田、
駒橋、周防、千歲、大和、巨村雨、朝霧、白雲、朝潮、
巨綾波、磯波、浦波、巨谷風、江風、葵、菊、巨萩 ▲、
藤 ▲、巨馬 ▲、巨陽炎、巨潜一、巨潜二、巨潜三、
潜一六、潜一七、巨潜二〇、潜一九、潜二三、
巨潜二四、潜二二、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、
巨水七〇、水六七、水六八、水七一、能登島 ▲、野島 ▲、
膠州 ▲、嶺雲、勞山
大 ▲阪 炭、鶴見
神 ▲戸 潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二、
潜三三、大泊
德 ▲山 青島
佐世保 ▲龍田、日向 ▲、霧島、比叡、敷島、肥前、
利根、常磐 ▲、長良、見島、沖島、宇治、巨橘 ▲、
根 ▲、樺 ▲、桐 ▲、巨櫻、檜、桃、柳、巨榎、梨、竹、樅、
巨栗、柿、梅、檉、巨松風、白雪、野分、叢、草、潜四二、
潜四三、潜四五、巨雁、若殿、鶴、燕

0522

新舞鶴 口鹿島、香取、ト筑摩、ト木曾、大井、
 安藝、三笠、春日、新高、勝力、吾妻、對馬、
 若葉、潮、朝風、子日、ト海風、山風、檜、榎、
 濱風、時津風、天津風、磯風、太刀風、帆風、野風、
 潜一四、ト水七三、水七二、水七四
 敦賀 水七五
 鎮南浦 口柏、松、榎、杉、ト鷲、鶴、雲雀、編
 旅順 口長月、水無月、菊月、卯月、
 馬公 桂、楠、室戸
 南洋群島 淀、松山丸、筑前丸
 浦鹽 口石見
 上港 關東
 九江 明石
 長沙 嵯峨
 宜昌 岡田
 香港 伏見
 タラカン 口梅、楓
 野間

航海中

鳥羽(一日宜昌發重慶へ)
 劍埼(六日吳發舞鶴へ)
 佐多(六日「アバダン」發古倫母へ)

知床(七日佐世保發「タラカン」へ)
 ト出雲、八雲(八日紐育發「アズレース」群島「ブン
 タデルガダ」へ)
 泰安丸(八日横須賀發南洋へ)
 磐手(九日佐世保發横須賀へ)
 薩摩(九日舞鶴發境へ)
 須磨、最上、ト潜二一、潜一八(十日美保發佐世保へ)
 生駒、朝日、薄雲、不知火(十日横須賀發)

(部内限二頁)

0523

海軍公報

第二千七百三十三號

海軍大臣官房

大正十年十一月十二日(土)

○艦船所在

指定要ス

○十一月十二日午前十時

【横須賀】 口長門△、口金剛、口北上、陸奥△、山城、
榛名、富士、津輕、阿蘇、若宮、橋立、滿洲、武蔵、千早、
口澤風、沖風△、霧風、矢風、口汐風、夕風、口櫻、
椿、櫻、桑、口秋風、離風、羽風、島風、口夕立、白露、
夕暮、三日月、口神風、櫻、如月、吹雪、初霜、有明、
口追風△、疾風△、彌生△、夕風△、浦風、口港九、港八、
口港一五、口港二六、港二五、港二七、港二八、港三八、
港三九、港四〇、港四一、口雄、白鷹、鴻、洲崎△、
松江

【館山】 生駒、朝日、薄雲、不知火

【大湊】 五十鈴、菱

【吳】 口春風、時雨、初春、初雪

伊吹、矢矧、球磨、多摩、天龍、淺間、日進△、千代田、
駒橋、周防、千歲、大和、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、
口綾波、磯波、浦波、口谷風、江風、葵、菊、口秋△、薄△、
龍△、葛△、陽炎、口港一一、港一〇、港一二、口港一三、

港一六、港一七、口港二〇、港一九、港二三、
口港二四、港二二、港三四、港三五、港三六、港三七、
口水七〇、水六七、水六八、水七一、能登呂△、野島△、
膠州△、嶺袋、勞山

【大坂】 炭、鶴見

【神戸】 港二九、港三〇、港三一、港三二、
港三三、大泊

【徳山】 青島

【佐世保】 口龍田、日向△、霧島、比叡、敷島、肥前、
常磐△、長良、見島、沖島、宇治、最上、口橘△、
櫻△、椿△、桐△、口櫻、檜、桃、柳、口榎、梨、竹、櫻、
口栗、柿、梅、楡、口松風、白雪、野分、霧草、口港四二、
港四三、港四五、口雁、蒼鷹、鶴、燕

【新舞鶴】 口鹿島、香取、口筑摩、口木曾、大井△、
安藝、三笠△、春日、新高、勝力、吾妻△、對馬△、
口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、榎、
口時津風、濱風、天津風、磯風、太刀風△、帆風、野風、
港一四、口水七三、水七二、水七四、水七五、劍崎

【鎮海】 薩摩

【旅順】 口柏、松、樟、杉、口鷲、鶴、雲雀、鶴、
口長月△、水無月△、菊月△、卯月△

海軍公報 第二千七百三十三號 大正十年十一月十二日

九七九

0524

馬公 梓、楠、室戸
南洋群島 淀、松山丸、筑前丸
浦留 石見
上港 關東
九海 明石
長江 嵯峨
宜沙 隅田
昌昌 伏見
タラカン 野間

航海中

鳥羽(一日宜昌發重慶)
佐多(六日「アバダン」發古倫母へ)
知家(七日佐世保發「タラカン」へ)
田雲、八雲(八日紐育發「アゾレス」群島「ブン
タデルガダ」へ)
泰安丸(八日横須賀發南洋へ)
磐玉(九日佐世保發横須賀へ)
須磨、日潜二、備一八(十日美保發佐世保へ)
利根(十一日佐世保發基隆へ)
梅、楓(十一日香港發「バラセル」島へ)
高橋(十一日鎮南浦發旅順へ)

○雜款

○司令潜水艦指定
第二十三潜水隊司令ハ十一月九日司令潜水艦ヲ第四十
二潜水艦ニ指定セリ

○司令驅逐艦變更
第三十三驅逐隊司令ハ十月二十四日司令驅逐艦ヲ濱風
ヨリ時津風ニ變更セリ

○郵便物發送先
軍艦利根宛
本日以後
馬公

特務艦襟裳宛
十一月十八日迄到著見込ノモノハ 吳
其ノ後ハ 横須賀郵便局留置
第十五艇隊司令部、雲雀、鷺、鵜、鷗宛
本日以後 佐世保

○事務所設置
第四十潜水艦艇員事務所ヲ横須賀海軍工廠内ニ設置
セリ(第四十潜水艦艇員長)

○滞在地變更
海軍少尉渡邊力ハ横須賀ヨリ吳へ滞在地變更ノ儀十一
月十一日認許セラレタリ

(部内限一頁)

0525

海軍公報

第二千七百三十四號

海軍大臣官房

大正十年十一月十四日(月)

○通 牒

官房第三九〇一號

大正十年十一月十四日

海軍省副官代理

海軍大佐 今村信次郎

赤坂離宮御苑菊花拜觀ニ關スル件

左記範圍竝ニ日割ヲ以テ毎日午前九時ヨリ午後三時迄
赤坂離宮御苑菊花拜觀被差許候
右爲念通知ス

範 圍

十一月十六日(水曜) 同十七日(木曜)

一、觀菊會ニ召サレタル者(觀菊會當日參苑シタル

向ニテモ差支ナシ)竝ニ其父母

一、華族ノ禮遇ヲ享クル者

一、奏任官奏任官待遇(待命休職後備役) 同夫人

一、奏任援ノ雇外國人同夫人

同十八日(金曜) 同十九日(土曜)

一、正五位、勳四等、功四級以下ノ有位帶勳者

拜觀者心得

一、赤坂離宮東門(租伊國坂上)ヨリ參入シ坂下門(租伊國坂下)ヨリ

退出スヘシ

一、資格及住所ヲ記載シタル名刺ヲ東門受付所ニ差出
スヘシ

一、服裝男子ハ通常禮裝、通常服、モトニングコート

又ハ紋付羽織袴、帽ハ高帽又ハ黒山高帽但シ制
服アル者ハ其ノ制服女子ハ通常服又ハ紋付袴袴ヲ

一、履物ハ靴、駒下駄又ハ草履トス

一、御苑内ニ於テ引廻ノ類及襟卷等ヲ用ウヘカラス但

シ外、套ハ此限ニアラス

一、御苑内一定ノ場所以外ニ於テ喫煙スヘカラス

經艦第三七〇號

大正十年十一月十四日

海軍省經理局長 志 佐 勝

海軍公報 第二千七百三十四號 大正十年十一月十四日

九八一

0526

艦隊經費共同費目整理ニ關スル件

本年六月十四日附經艦第一六四號通達別紙様式備考中

「及流用増減額」ヲ削除シ左記一項ヲ追加ス

三、流用増減額ハ現金受入額欄ニ記入スヘシ但各艦船ノ分ハ同欄及仕拂額欄ニ記入スルモノトス
右通達ス

○ 辭令

海軍技手 丹羽 賢次

第一部勤務ヲ命ス(十一月海軍艦政本部)

海軍大佐 安 東 良

第五部勤務ヲ命ス(十一月海軍艦政本部)

海軍技師 富井 與四郎

第三部勤務ヲ命ス(十一月海軍艦政本部)

海軍造兵大尉 村瀬 東十郎

○ 艦船所在

相定ヲ要セス

○十一月十四日午前十時觀

【續須賀】口長門△、口金剛、△北上、陸奥△、山城、
榛名、磐手、生駒、朝日、富士、津輕、阿蘇、若宮、鳳翔、

橋立、潮州、武藏、千早、△澤風、沖風△、暴風、矢風、
△沙風、夕風、△櫻、椿、楓、桑、△秋風、離風、羽風、
島風、△夕立、白露、夕暮、三日月、△神風、櫻、如月、
吹雪、初霜、有明、△追風△、疾風△、彌生△、夕風△、
浦風、薄雲、不知火、△潛九、△潛八、△潛一五、
△潛二六、△潛二五、△潛二七、△潛二八、△潛三八、△潛三九、
△潛四〇、△潛四一、△雄、白鷹、鴻、鷗、洲崎△、松江

【大浦】五十鈴、菱
【大浦】五十鈴、菱

【大浦】△春風、時雨、初春、初雪
【大浦】△春風、時雨、初春、初雪

伊吹、矢矧、球磨、多摩、天龍、淺間、日進△、千代田、
駒橋、周防、千歲、大和、△村雨、朝霧、白雲、朝潮、
△綾波、磯波、浦波、△谷風、江風、葵、菊、△萩△、薄△、
藤△、萬△、陽炎、△潛一、△潛一〇、△潛一二、△潛一三、
△潛一六、△潛一七、△潛二〇、△潛一九、△潛二三、
△潛二四、△潛二二、△潛三四、△潛三五、△潛三六、△潛三七、
△潛七〇、水六七、水六八、水七一、能登島△、野島△、
膠州△、樹袋、勞山

【大浦】△樹袋、勞山
【大浦】△樹袋、勞山

【大浦】△樹袋、勞山
【大浦】△樹袋、勞山

【佐世保】△龍田、日向△、霧島、比叡、敷島、肥前、
常磐△、長良△、須磨、見島、沖島、宇治、最上、△橋△、
櫻△、椿△、楓△、△櫻、椿、桃、柳、△榎、梨、竹、樅、

口栗、柿、梅、楡、口松風、白雪、野分、霞、葦、口潜二一、
 潜一八、口潜四二、潜四三、潜四五、口雁、蒼鷹、口燕
 新舞鶴、口鹿島、香取、口筑摩、口木曾、大井、
 安藝、三笠、春日、新高、勝力、吾妻、對馬、
 口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、榎、
 口時津風、濱風、天津風、磯風、太刀風、帆風、野風、
 潜一四、口水七三、水七二、水七四、水七五
 境 薩摩
 口柏、松、榎、杉、口鷲、朝、雲雀、編
 口長月、水無月、菊月、卯月、高崎
 旅順 桂、楠
 馬公 淀、松山丸、筑前丸
 南洋群島 口石見
 浦 關東
 上 港 關東
 長 沙 關東
 宣 昌 伏見

航海中

鳥羽(一日宜昌發重慶へ)
 佐多(六日「アバダン」發古倫母へ)
 知床(七日佐世保發「タラカン」へ)
 出雲、八雲(八日紐育發「アゾレス」群島「ブン
 タデルガダ」へ)

泰安丸(八日横須賀發南洋へ)
 利根(十一日佐世保發基隆へ)
 口梅、楓(十一日香港發「バラセル」島へ)
 野間(九日「タラカン」發「マニラ」へ)
 大泊(十二日神戸發吳へ)
 嵯峨(十三日九江發漢口へ)
 室戸(十三日馬公發高雄へ)
 劍崎(十三日舞鶴發德山へ)
 青島(十三日德山發舞鶴へ)

○ 雜 款

○ 軍艦進水

横須賀海軍工廠ニ於テ建造ノ軍艦鳳翔本月十三日午後
 三時十五分進水セリ

○ 特務艦進水

横濱船渠株式會社ニ於テ建造ノ特務艦尻矢本月十二日
 午後二時進水セリ

○ 郵便物發達先

軍艦攝津宛
 十一月十八日迄到著見込ノモノハ 三 津 濱
 同 二十日迄 同 吳

海軍公報 第三千七百三十四號 大正十年十二月十四日

九八四

同 二十四日迄 同
其ノ後ハ

三津濱
吳

第五戰隊司令部、石見宛
當分ノ間

新舞鶴郵便局留置

○特務艦洲崎行動豫定變更(十一月七日
本欄参照)

地名

著

發

横須賀

タラカン

吳

タラカン

横須賀

十一月三十日

十二月十三日

十二月二十八日

十一月十八日

十一月二十日
十二月三日
十八日
三十一日

十一月十八日

十一月十五日

(部内限二頁)

0529

海軍公報

第二千七百三十五號

海軍大臣官房

大正十年十一月十五日(火)

○通牒

官房第三六二一號ノ三

大正十年十一月十五日

海軍省副官代理

海軍大佐 今村信次郎

各廳長 殿

委任統治地域ニ於ケル國旗ニ對スル
禮砲ニ關スル件

本件ニ關シ南洋群島方面ニ於テ帝國軍艦在泊セル港灣
ニ外國軍艦入港スル場合帝國國旗ニ對スル禮砲施行ノ
當否ニ就キ海軍次官ヨリ外務次官宛照會ニ對シ別紙ノ
通回答有之候條御承知相成度
右依命通牒ス

(別紙)

歐二普通第三六八號

大正十年十一月七日

外務次官代理 田中 都吉

海軍次官 井出謙治殿

委任統治地域ニ於ケル國旗ニ對スル
禮砲施行ニ關スル件

本件ニ關シ十月二十日附官房第三六二一號ヲ以テ御照
會ノ次第丁承本件地域ハ國際聯盟規約第二十二條並客
年十二月十七日「ジュネーヴ」ニ於テ聯盟理事會ノ決
議シタル委任統治條項第二條ニ據リ日本帝國ニ於テ其
ノ領土ノ構成部分トシテ施政及立法ノ全權ヲ有スル次
第ナルヲ以テ右地域ニ於テハ我領土同様ニ國旗ニ對ス
ル禮砲ヲ行フヘキモノト思考致候此段及回答候也

○辭令

○大正十年十一月十四日

任海軍技手

楠 修 策

給六級俸

任海軍技手

盛 中 仙 市

給月俸七拾圓

(各通)

海軍技手

楠 修 策

吳海軍工廠附ヲ命ス(海軍省)

盛 中 仙 市

檢査官附ヲ命ス(海軍火藥廠)

村 上 峰 巖

海軍公報 第二千七百三十五號 大正十年十一月十五日

九八五

0530

○艦船所在

指定要ス

○十一月十五日午前十時観

横須賀 口長門、口金剛、口北上、陸奥、山城、
榛名、磐手、生駒、朝日、富士、津軽、阿蘇、若宮、鳳翔、
橋立、滿洲、武蔵、千早、口澤風、沖風、霧風、矢風、
口汐風、夕風、口櫻、椿、櫻、桑、口秋風、瀧風、羽風、
島風、口夕立、白霧、夕暮、三月月、口神風、響、如月、
吹雪、初霜、有明、口追風、疾風、彌生、夕風、
浦風、霧雲、不知火、口潛九、潛八、口潛一五、
口潛二六、潛二五、潛二七、潛二八、潛三八、潛三九、
潛四〇、潛四一、口雄、白鷹、鴻、洲崎、松江、
横濱 尻矢
浦賀 五十鈴、菱
大湊 口春風、時雨、初春、初雪
吳 口韓崎、口平戸、扶桑、伊勢、鞍馬、伊吹、
矢矧、球磨、多摩、天龍、淺間、日進、千代田、
駒橋、周防、千歳、大和、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、
口綾波、磯波、浦波、口谷風、江風、葵、菊、口萩、薄、
藤、口萬、陽炎、口潛一、潛一〇、潛一二、口潛一三、
潛一六、潛一七、口潛二〇、潛一九、潛二三、
口潛二四、潛二二、潛三四、潛三五、潛三六、潛三七、
口水七〇、水六七、水六八、水七一、龍登呂、野島、
陽州、横濱、大泊

大 阪 炭、鶴見
神 戶 潛二九、潛三〇、潛三一、潛三二、
江田内 橋津
佐世保 口龍田、日向、霧島、比叡、敷島、肥前、
常磐、長良、須磨、見島、沖島、最上、口橘、
櫻、橘、桐、口櫻、檜、桃、柳、口榎、梨、竹、樅、
口栗、柿、梅、榆、口松風、白雪、野分、霞、松、葦、
口潛二一、潛一八、口潛四二、潛四三、潛四五、口雁、
蒼鷹、鶴、燕
新舞鶴 口鹿島、香取、口筑摩、口木曾、大井、
安藝、三笠、春日、新高、勝力、吾妻、口對馬、
口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、榎、
口時津風、濱風、天津風、磯風、太刀風、帆風、野風、
潛一四、口水七三、水七二、水七四、水七五
境 薩摩
海 口柏、榎、杉
鎮 順 口長月、水無月、菊月、卯月、高崎
旅 順 利根
基 隆 桂、楠
馬 公 室戸
高 雄 室戸
南洋群島 淀、松山丸、筑前丸
油 口石見
港 關東
上 海 口明石

0531

漢口 漢口
長沙 長沙
宜昌 宜昌
沙市 沙市
宜昌 宜昌
沙市 沙市
宜昌 宜昌
沙市 沙市

航海中

鳥羽(一日宜昌發重慶へ)
佐多(六日「アバダン」發古倫母へ)
知床(七日佐世保發「タラカン」へ)
ト出雲、八雲(八日紐育發「アズレリス」群島「ブン
タデルガダ」へ)
泰安丸(八日横須賀發南洋へ)
巨梅、楓(十一日香港發「バラセル」島へ)
劍崎(十三日舞鶴發德山へ)
青島(十三日德山發舞鶴へ)
宇治(十四日佐世保發上海へ)
勞山(十四日吳發神戶へ)
巨鷲、鷗、雲雀、鶴(十四日鎮海發佐世保へ)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先
軍艦天龍宛

十一月十七日迄到著見込ノモノハ 神 戸
其ノ後ハ 吳

○ 締盟各國ニ於ケル禮砲答砲施行箇所通報(其九)

一、獨逸國

海軍所管内

Wilhelmshaven

Cuxhaven

Friedrichsort

國防軍管内

Borkum

Swinemünde

Pillau

○ 學生入校期日

本年度本校ニ入校スヘキ左記學生ハ來ル十二月十日午
前十時始業式施行ニ付同日迄ニ著任セシメラレ度

第二十一期甲種學生

第二十一期航海學生

第十三期機關學生

(海 軍 大 學 校)

海軍公報 第二千七百三十五號

大正十年十一月十五日(部内限一頁、同附錄四頁)九八七

0532

海軍公報

第二千七百三十六號

海軍大臣官房

大正十年十一月十六日(水)

○令達

官房第三九二二號

大正十年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十年十一月十六日

臨時海軍大臣事務管理

内閣總理大臣 子爵 高橋 是清

歳出經常部

款

項

目

節

解疏

會計科目

(軍事費)

(臨時費及修繕費)

舞鶴病院第一病室模樣替修繕

ヘフ

歳出臨時部

款

項

目

節

解疏

會計科目

(營繕費)

(新營費)

横須賀鎮守府附屬家移築

ノタ

○通牒

官房第三九二二號

大正十年十一月十六日

海軍省副官代理

海軍大佐 今村 信次郎

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀殿)

汽船「トリール」漁業許可證變更ノ件

本件ニ關シ左記ノ通變更ノ旨農商務省水産局ヨリ通知

アリタリ

右通牒ス

記

許可番號

第四〇號

住所

東京市日本橋區本町四丁目九番地

氏名又ハ名稱

日本トリール株式會社

船名

羽衣丸

海軍公報 第二千七百三十六號 大正十年十一月十六日

九八九

0533

操業區域	東海及黃海
漁獲物陸揚港	下關、博多、長崎
許可期間	許可ノ日ヨリ拾箇年
制限又ハ條件	一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定ムル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ之ヲ遵守スヘシ 二、「トロール」漁業監視ノ乘組ヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
許可年月日	大正十年十一月一日

○辭令
海軍大佐 名古屋 爲毅 自今潛在地方東京ニ指定ス(海軍大臣)
海軍技手 近藤 正信 第二部附ヲ命ス(海軍艦政本部)
海軍特務少尉 酒井 喜市 検査官附ヲ命ス(海軍造兵廠)

○艦船所在
指定ヲ照セス

○十一月十六日午前十時観

横須賀 長門、金剛、北上、陸奥、山城、榛名、磐手、生駒、朝日、富士、津軽、阿蘇、若宮、鳳翔、橋立、滿洲、武蔵、千早、日澤、沖風、霧風、矢風、夕風、夕立、白鰐、椿、榎、桑、秋風、瀧風、羽風、島風、夕立、白露、夕暮、三月、神風、響、如月、吹雪、初霜、有明、追風、疾風、彌生、夕風、浦風、霧雲、不知火、潜九、潜八、潜一五、潜二六、潜二五、潜二七、潜二八、潜三八、潜三九、潜四〇、潜四一、潜四二、白鷹、鴻、洲埼、松江、尻矢

横濱 五十鈴、菱

大湊 春風、時雨、初春、初雪

吳 球磨、多摩、淺間、日進、千代田、駒橋、周防、千歳、大和、村雨、朝霧、白雲、朝潮、綾波、磯波、浦波、谷風、江風、葵、菊、秋、藤、葛、陽炎、潜一、潜一〇、潜一二、潜一三、潜一六、潜一七、潜二〇、潜一九、潜二三、潜二四、潜二二、潜三四、潜三五、潜三六、潜三七、潜七〇、水六七、水六八、水七一、能登呂、野島、膠州、懷柔、大泊

大 廣、鶴見

神 戶 潜二九、潜三〇、潜三一、潜三二

0534

潜三三、勞山
 小豆島 天龍
 德山 劍崎
 三津濱 攝津
 佐世保 龍田、日向、霧島、比叡、敷島、肥前、
 常磐、長良、須磨、見島、沖島、最上、巨橋、
 櫻、樺、桐、松、檜、檜、桃、柳、榎、梨、竹、樺、
 栗、柿、梅、榆、松、風、白、雪、野、分、蠶、松、草、
 潜二一、潜一八、潜四二、潜四三、潜四五、
 蒼鷹、鶴、燕
 新舞鶴 口鹿島、香取、筑摩、木曾、大井、
 安藝、薩摩、三笠、春日、新高、勝力、吾妻、
 對馬、若葉、潮、朝風、子日、海風、山風、檜、
 榎、濱風、太刀風、帆風、野風、潜一四、水七三、
 水七二、水七四、水七五、青島
 美保關 時津風、天津風、磯風
 旅順 長月、水無月、菊月、卯月
 基隆 利根
 馬公 桂、楠
 高雄 室戸
 南洋群島 淀、松山丸、筑前丸
 上海 關東
 漢口 明石
 嵯峨

長沙 隅田
 宜昌 伏見
 香港 梅、楓
 マニラ 野間

航海中

鳥羽(一日宜昌發重慶)
 佐多(六日「アバダン」發古倫母)
 知床(七日佐世保發「タラカン」)
 出雲、八雲(八日紐育發「アゾレス」群島「ブン
 タデルガダ」)
 泰安丸(八日橫須賀發南洋)
 宇治(十四日佐世保發上海)
 鷺、鶴、雲雀、鵜(十四日鎮海發佐世保)
 石見(十五日浦發發舞鶴)
 高崎(十五日旅順發佐世保)

○雜款

○郵便物發送先
 第二十九潜水艦宛
 十一月十八日以後
 横須賀

○事務所撤去

神戸三菱造船所内ニ設置中ノ第二十九潜水艦艇装員事務所ヲ本月十五日限り撤去セリ(第二十九潜水艦艇長)

○滞在地變更

海軍大尉佐々木東吾ハ吳ヨリ舞鶴ヘ滞在地變更ノ儀十一月十四日認許セラレタリ

○著任、電報略語

伯刺西爾國在勤帝國公使館附武官河野重吾ハ九月十九日著任當分ノ間同公使館内ニ於テ執務ス、尙同官宛電報略語ハ左ノ通登記セル旨報告アリ

Kaigun Rio.

(部内限一頁)

0536

海軍公報

第二千七百三十七號

海軍大臣官房

大正十年十一月十七日(木)

大出

○艦船所在

指定ヲ要セス

○十一月十七日午前十時調

【横須賀】 口長門△、口金剛、△北上、陸奥△、山城、
榛名、磐手、生駒、朝日、富士、津輕、阿蘇、若宮、鳳翔、
橋立、滿洲、武蔵、千早、口澤風、沖風△、暴風、矢風、
口沙風、夕風、口櫻、椿、楓、桑、口秋風、瀨風、羽風、
島風、口夕立、白露、夕暮、三日月、口神風、響、如月、
吹雪、初霜、有明、口追風△、疾風△、彌生△、夕風△、
浦風、霧雲、不知火、口潛九、港八、口潛一五、
口潛二六、港二五、港二七、港二八、港三八、港三九、
港四〇、港四一、口雄、白鷹、鴻、鵠、洲崎、松江

【横濱】 五十鈴、菱

【大湊】 口春風、時雨、初春、初雪

【吳】 口▽韓崎、▽平戸、扶桑、伊勢、鞍馬、伊吹、
矢矧、球磨、多摩、淺間、日進△、千代田、駒橋、
周防、千歲、大和、口村雨、朝霧、白雲、朝潮、
口綾波、磯波、浦波、口谷風、江風、葵、菊、薄△、藤△、
葛△、陽炎、口潛一一、港二〇、港一二、口潛一三

口潛一六、港一七、口潛三〇、港一九、港二三、
口潛二四、港二二、港三四、港三五、港三六、港三七、
口水七〇、水六七、水六八、水七一、能登呂△、野島△、
膠州、嶺袋、大泊

【大 阪】 旗、鶴見

【神 戶】 加賀、天龍、港二九、港三〇、港三一、
港三二、港三三、勞山

【德 山】 劍崎

【三 津 濱】 攝津、口萩

【佐 世 保】 龍田、日向△、霧島、比叡、敷島、肥前、
常磐△、長良、須磨、見島、沖島、最上、口橋△、
櫻△、椿△、桐△、口樫、檜、桃、柳、口榎、梨、竹、樅、
口栗、柿、梅、楡、口松風、白雪、野分、叢、草、口潛二一、
港一八、口潛四二、港四三、港四五、口雁、蒼鷹、
鶴、燕

【新 舞 鶴】 口鹿島、香取、▽筑摩、▽木曾、大井△、
安藝、薩摩、三笠、春日、新高、勝力、吾妻△、
對馬△、口若葉、潮、朝風、子日、口海風、山風、檜、
榎、濱風、太刀風△、帆風、野風、港一四、口水七三、
水七二、水七四、水七五、青島

海軍公報 第二千七百三十七號

大正十年十一月十七日

九九三

0537

鎮海 長月、水無月、菊月、卯月
 旅順 利根
 基隆 桂楠
 馬公 淀、松山丸、筑前丸
 南洋群島 關東
 上海 明石、宇治
 漢口 鰐鰓
 長沙 隅田
 宜昌 伏見
 香港 梅見
 航海中
 鳥羽(一日)宜昌發重慶へ
 佐多(六日)「アバダン」發古倫母へ
 知床(七日)佐世保發「タラカン」へ
 出雲、八雲(八日)紐育發「アズレース」群島「ブン
 タデルガダ」へ
 泰安丸(八日)横須賀發南洋へ
 鷲、鶴、雲雀、鶴(十四日)鎮海發佐世保へ
 石見(十五日)浦鹽發舞鶴へ
 高崎(十五日)旅順發佐世保へ
 時津風、磯風、天津風(十六日)美保關發舞鶴へ
 室戸(十六日)高雄發佐世保へ
 野間(十六日)「マニラ」發德山へ

○雜款

○軍艦進水

神戸川崎造船所ニ於テ建造ノ軍艦加賀本日午前八時三十分進水セリ

○特務艦襟裳行動豫定

地名	著	發
吳	十一月三十日	十一月十九日
タラカン	十二月十七日	十二月四日

○特務艦勞山行動豫定中變更(十一月五日)

地名	著	發
神戶	十一月十九日	十一月十七日
横須賀	十一月十九日	

○入校期日

來十二月一日附任命セラルヘキ當校學生ハ同月十一日迄ニ入校セシメラレ度授業ハ同十二日(月)ヨリ開始ノ豫定(海軍經理學校)
 本年度本校ニ入校スヘキ左記學生ハ來ル十二月八日午前十時始業式施行ニ付同日時迄ニ著任セシメラレ度

0538

第二十一期 高等科學生
第三十六期 普通科學生
(海軍砲術學校)

海軍公報 第二千七百三十七號 大正十年十一月十七日(附錄二頁、部内限一頁) 九九五

0539

海軍公報 附録

大正十年十一月十七日(木)
海軍大臣官房

○雜款

○圖書

去ル十月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

和漢書ノ部

第一門

軍備制限と陸軍の改造 中尾龍夫著 大正十

麻刺加海峽水路誌 水路部編 大正十

第二門

太平洋會議と支那 東方通信社編 大正十

太平洋外交史 淺野理三郎著 大正十

歐戰中日交渉史 支那劉彦著 民國十

貨幣に關する最近の諸學說 大藏省理財局調査課編

支那勞働者研究 小山清次著 大正九

韓國獨立運動之血史 朴段植著 大韓民國二

第三門

哈爾濱在中 漢蒙兩族鬭爭史 前編

南滿洲鐵道株式會社總務部調査課編 大正十

海軍公報 附録 大正十年十一月十七日

橘隊の弔合戰(四比利亞實戰記) 陸軍歩兵大尉矢守貞吉著 大正十、七版 雜七五

第四門

佛領印度支那大觀 臺灣總督官房調査課編 大正十 雜七三

世界を一周して 小松綠著 大正十 雜七〇

邦人發總南米 朝日龍一著 大正十 雜七六

第六門

算術工學 山添豊作著 大正九、第七版 雜七六

第八門

國際勞働生産調査法 外務省臨時平和條約事務局譯 大正十 雜七六

印度貿易事情 南洋協會新嘉坡商品陳列館編 大正十 雜七六

英米等の石油政策要領 大藏省理財局編 大正十 雜七六

米蘭油田紛議の真相(和蘭政府公文書にあらはれたる米蘭兩國往復文書) 日蘭通交調査會編 大正十 雜七七

洋書ノ部

CLASS I.

Fourcane, L.-D. Manuel élémentaire du mécanicien d'aviation. Paris 1920. 885

0540

Schaible, C. Standes- und Berufspflichten des deutschen Offiziers. Berlin 1919.	1122	Nichiran - Tsukō - Chyosa - Kai. Nederlandsch-Japansch woordenboek. 蘭和辭典 附和語文法要録 Tokyo 1921.	13
CLASS II.		CLASS VII.	
Klosz, Dr. Die Reichsabgabenordnung. Berlin 1921.	1123	Engineering index, The, N. Y. 1921.	5195
Rathenau, Walter. Kritik der dreifachen Revolution. Berlin 1919.	1121	Oberg, E. & F. D. Jones. (ed.) Machinery's encyclopedia. N. Y. 1917. 7 vols.	5193
Böhler, E. und Hans Wehberg. Der Wirtschaftskrieg. Jena 1919.	1124	Niemann, Oberleutnant. Funkentelegraphie für Fliegzeuge. Berlin 1919.	1120
CLASS III.		Wiesent, Johannes. Die Fortschritte der drahtlosen Telegraphie und physikalischen Grundlagen. Stuttgart 1921.	4118
Young, Elson. With the battle cruisers. London 1921.	5196	Wigge, Heinrich. Die neuere Entwicklung der Funkentelegraphie, ein Siegeszug Vakuumröhre. Cöthen 1921.	1119
Fighting at Jutland, The. The personal experience of sixty officers and men of the British Fleet. Weymouth 1921.	5194		
Legg Navale Italiana. La Maria Italiana nella guerra mondiale. Roma 1920.			
CLASS VI.			
Hinrichsen, F. W. und S. Taczak. Die Chemie der Kohle. Leipzig 1916.	1117		
CLASS V.			
Lange, Rudolf. Thesaurus Japonicus. Japanisch-deutsches Wörterbuch. Berlin 1920. 2 Bde. 1125			

0541